



サニーコーストたより

新年号

2018年1月8日号
ヨコハマサニーコースト
会報係

**明けましておめでとう
本年も楽しくスクエアダンスを楽しみましょう！！**

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
昨年は12月に、衆議院選挙があり、自民党が圧勝して、これからの日本の舵取りをすることになりました
南区選出の菅さんも幹事長という要職につき、頑張ってもらいたいと思います。
さて、サニーコーストは、今年で31周年です。4月21日にアニバーサリーをおこないます。日本全国から、
著名なダンサー・コーラーが集まり、横浜のランドマークホールで記念式典を行います。
またラウンド界からも、会長の酒井さんをはじめ、伊藤隆夫さんも来て下さるとのことです。
ここで、酒井さんと、サニーコーストとの関係を話しましょう。
サニーの前会長の斎藤勝義さんと、わたしは、46年まえに、酒井さんのところ(メリーパイオニア)にかよっていました。
斎藤君は主にラウンド、私は主にスクエアダンスを酒井さんにおそわりました。
その頃の酒井さんはラウンドばかりか、スクエアダンスのコーラーとしても、日本の一流の先生だったのです。
それ以来、酒井先生との関係はつづいています。

会長 磯部章三

ビキナー卒業式を終えて！

石井 信夫

昨年9月にスタートしてから4ヶ月間、ビキナーさんの頑張り、
そして会員のみなさんの協力により卒業式を終える事ができました。

ビキナー講習でいつも感じることは教えることの難しさです、毎回講習項目は決めて始めるのですが
項目全てが出来なかったり、理解できたのか、とか、いつも考えさせられます。
1月よりメインストリームがスタートします(約2ヶ月間)ので皆さんの協力をお願いします。

ここ数年ダンサーの上のレベル志向が強くなっているとかんじています、
上のレベルへ進むことは悪い事ではないとおもっていますが上に進むには各レベルを
完全にマスターしてから参加することをおすすめします、
最近アドバンスのチップで半数以上のセットが壊れているのをよくみかけます、
よく観察していると、ベーシック・メインストリームで壊れているのが多くみられます。

ビキナーの方も、もう少しでメインストリームが終了しますがこの後の踊りこみが大事になります。

！！頑張ってください、そしていつも笑顔を忘れずに！！

スクエアダンスを20倍楽しむ法

織田 哲

スクエアダンスは8人いないとできないと思われていますが、実は1人でもできる方法があります。それはコールの勉強をして、はじめて気が付いたのですが、……。そう、それはコールです。深夜1人でいても、毎日の通勤電車のなかでも、お風呂に入っている、(トイレに入っている)、スクエアダンスを楽しむことができます。頭の中をぐるぐる駒がまわって、できないのにRight & Left Thruをやっていたりして、ハツハツハ……。最近カラオケに通っています。土日の仕事のない日に限られますが、1時間400円(平日だと260円です。)ちょっと工夫して、カラオケ機器のマイクジャックにICレコーダーからの出力信号を突っ込んで、煙草をくわえて、ドリンクバーの3杯目のコーヒーを片手に、1人で2時間、一流コーラーになった気分です。至福の時を過ごしています。

最近、部屋のなかで煙草を吸うなんて考えられないことですから。また、カラオケ屋さんの受付嬢が…えっへっへ！。

3年前に山咲さんに「コールに興味ない。」と声をかけられて。「コールをやってみない？」と声をかけられていたら、「いいえ」と答えていたでしょうが。「興味ない」ときたので、つい「興味はありますよ」と答えてしまいました。一巻の終わり: 山咲さんの作戦勝ち。

去年のビギナーさんの卒業式で、会長からの贈ることば、「これから先、天国や地獄があるでしょうが、一緒に頑張りましょう」すかさず石井さんから、「スクエアダンスに地獄はありませんよ。」と訂正のお言葉。——痛っ、会長失言か——。…ともあれ、今、僕は地獄にいます。

と云うわけで、スクエアダンスを20倍楽しんでいます。いえいえ、例会で3セット作って頂いたとして、8×3の24倍の楽しみを皆さんに頂いております。ありがとうございます。

いつか恩返しができますよう、研鑽する所存です。改めてお礼申し上げますとともに、今しばらく、ご指導よろしくお願ひしますところで皆さん、コールに興味ありませんか。

「年寄りのつぶやき — プラスプログラム」

吉川 幸一

サニーコーストの例会等に於けるプラスプログラムについて、ずっと以前から思うことがあり言おうかな、いやこんなこと言ったって無駄なこと、どうせ無視されるに決まっているからと止めていたけれど、最近言わなければ気が済まない心境になってきた。それでも年寄りがなに言っているのかと思われるのが関の山かも知れないけれど。

例会や踊り込みのプラスプログラムには、例会で今までコールされなかった新しいプログラムが最初何の説明もなしに突然コールされることがある。新しいプログラムが時々取り入れられることは無論大歓迎ではあるが、その時何の説明もないと戸惑いもするし、解らないからセットを壊して白い目で見られたり、気分も悪くなったりする。それはあまりいいものではない。新しいプログラムが取り入れられる時に、どうして最初に丁寧な説明が無いのだろうといつも疑問に思う。その理由を考えてみるといくつか思い当たることがある。コーラーの中には、会員にとって何が新しいプログラム(踊りの形)かプログラムの管理を常にしていないか。(管理されているのは、ビギナー講習の場合のみである。) 或いは、そんなことはどうでもよく無関心か。或いはまた、会員は踊れているからたいがいの新しいプログラムも最初の説明なしで大丈夫だと思っているか。のいずれかであると思う。理由は上記の最後だと思う。それは会員の殆どがプラス等の講習を受けに他のクラブ等に通っているからだ。コーラーが異なれば、また、クラブが異なれば異なる色々のプログラムを覚えられる、だから例会で新しいプログラムがコールされても理解済みで踊ることができるのだ。コーラーの中には、こういう外出会員を中心にコールをし、例会を進めているようにみえるのだ。突然の新しいコールで戸惑ってセットを壊すのは、普通の会員の中でほんの少数会員だ。この少数会員は色々の事情があり他に講習を受けに行けないか、行かない人だ。私もこの部類に属する会員だ、個人的な理由だが体力的とRDに時間を割かれるので、他に行かない。サニーコーストでは自由に他に行ってもレベルを上げて良いというルールがあるのだから、行かない会員が悪いのだという理論もあるだろう、それも一理あるのかも知れない。けれどこれは、他のクラブ等に通う外出会員を中心に考え、少数会員を軽視している(さもなければ無関心の)ようにみえる会運営方法だ。これがいいか悪いかは判断に任せるとして、サニーコーストのやり方には違いない。

踊り込みの時がいい例だ。

ゲストコーラーに、サニーコーストのコーラーが会員のレベルについてどう説明しているか知らないが、ゲストコーラーは特に説明なしに例会ではなかったプログラムをどんどんコールする(会員の出来具合を見てはいると思うが)。

無論変化があって面白いが、その結果戸惑う会員もいる、なのに丁寧な説明もなくただ同じコールを繰り返すだけだ。ほとんどの外出会員は涼しい顔で踊っている。これが現状だ。ある時私が戸惑っていると、ぎゅっと引っ張ってくれる会員がいる、そっとやってくれるのなら歓迎だが、あまりきついとつい顔をみてしまう、私より随分後から入った会員だったので、先輩には少しは気を使えと心の中でぶつぶついつつ踊ることになる。それでもしょうがない、その新プログラムをこちらは知らないのだから。

少数会員の中には、セットを壊したりするのが申し訳なく、また戸惑ったりするのは自分自身嫌なので、最初から同時進行の新会員(ビギナー)に対応してMSと一緒に踊っている会員もいる。気分的にはこれが一番いいかも知れない。

最近の例会でもあった。Touch 1/2というプログラムが突然コールされた。

私は今までサニーコーストの例会でこのコールを聞いたことがなかった。一瞬Touchクオータの半分と理解した、それは右45度回転と考えたが変な感じ、そのうち引っ張られてオーシャンウエーブまで回転(180度)した。踊っている時は良く解らなかつた、確かに文字に書けばTouchクオータ1/2とは言っていない、しかし踊っている時瞬間にTouch ~と聞けば Touchクオータ(1/4)のなにかと思ってしまう。長年Touchクオータ(1/4)こればかりコーラーから聞いているので頭も体もいつものように反応してしまう。最初に説明があつて始めればこんなことはないのではないか。

殆どの外出会員は涼しい顔でTouch 1/2を踊っていた。なぜなら外出会員は既にどこかで経験済みなのだから。これもコーラーの問題か、少数会員(私)の問題かどちらに問題があるのかは、判断にお任せする。

その日椅子に座って休んでいる時、隣にいた大先輩が、Touch Familyには4つありTouch、Touch1/4、Touch1/2、Touch3/4、まであるよ、と説明してくれてよく理解できた。それまでのもやもやがすっきりした次第だ。

Touchは、Basic Programのなかにあり、一般の説明書には、Touch1/4しか書いてなく、Touch Familyなどにも書いてないし、例会でも聞いたことがない。これが現状だ。(お前は勉強不足だといわれればそれまでだ。)

誤解を招くといけないから言うが、例えばTポーンから入るCoordinateや左から入る各Program等のように例会で既に出てきているもので、戸惑ったりするのはこれは個人の不勉強と言わざるを得ない。今まで述べてきたことは、例会や踊り込みの時の場で、過去にコールされなかった新プログラムに関することだ。静かに考えてみると、前に書いたサニーコーストのやり方にそつてやれば大変楽だ、なぜなら説明もいらぬし会員に気を使わなくていいのだから。RDもこのやり方が楽でいいかも知れない。

色々書いたが、年寄りのぼやきと取られるだろうし、事態はなにも変わらないのだろうと思う。それも想定内と致しましょう。

編集後記

謹賀新年

この歳になると、あっという間に一年が過ぎますよ 良いのか悪いのか？

さて、今年は第31回アニバーサリーパーティーがランドマークホールで開催されます。

会員一同、一致団結、最高のおもてなしでゲストを楽しませ 流石サニーと言わせたいね！！

one for all,all for one 「みんなは一人のために。一人はみんなのために。」

会報係:清水 恒